

プロフィール

藤田 需子（写真家）

山口県下関市出身。梅光女学院大学英文学部修士課程の時にジェイムズ・ジョイスの作品に出会い衝撃を受ける。

印刷会社に10年勤めた後、2001年にアイルランド国ダブリン市に移住し、以来写真家として活動。様々な分野の作品に取り組む。

「ジェイムズ・ジョイスの影」(*The Shadow of James Joyce*)を2011年にアイルランドの出版社リリプットプレスより出版。

アイルランド国収集作品(コレクション)に納められる。近年は、ソーシャリー・エンゲージド・アート(社会と関わる芸術)分野で知られたイギリスの現代アート財団「グライズデール・アーツ」と共に、「役立つアート」をテーマに、過疎地域の活性化プロジェクトをコーディネートし、日本やイギリスなどで活動中。2017年からの下関市菊川町の村との活動は現在も続いている。